

第9回食品ロス削減のための商慣習検討専門部会の概要

1 日 時 令和6年8月2日（金）14：00～15：30

2 場 所 パレブラン高志会館 カルチャーホール

3 議 事

（1）直近の商慣習見直しをめぐる国の動きについて

（2）富山県食品ロス削減推進計画の見直しについて

- ・富山県食品ロス削減推進計画に基づくこれまでの取組みについて
- ・令和5年度食品ロス・食品廃棄物等実態調査結果について
- ・富山県食品ロス削減推進計画の見直し（骨子案）について

（3）意見交換等

4 主な意見の概要

<商慣習見直しの今後の取組み方針について>

- ・商慣習見直しによる効果がどのように生かされているかについて、業種ごとに共有していく必要がある。また、数値的な目標設定だけではなく取組みの中身についても業種を超えた共有が必要だと思う。
- ・さらなる食品ロスの削減を目指すにあたり、事業系食品ロスの発生量が半減した理由について、共有を行うと良いと思う。
- ・手前どりなど県民運動としてキャンペーンを継続し、多くの消費者に広げていくことが大事である。
- ・消費者に対してどのような行動が食品ロス削減に繋がるのかを明示した上で、協力いただいた消費者に感謝を示していくことが大切。
- ・「もったいない」を消費者に浸透させる啓発が重要だと思う。「もったいない」から手前どりや食べ物を粗末にしないという行動に繋がっていくと思う。
- ・消費者に対する動機づけが大切。同調圧力的にやるのではなく、カッコいい、おしゃれといった視点から動機づけていくと良いのではないかな。
- ・お店の中で生産者の努力が見える化することで、「もったいない」という気持ちを消費者に伝えてほしい。
- ・手前どりなど子どもへの教育によって、食品を大切にするという意識づけができていくのは良いことだと思う。

<富山県食品ロス削減推進計画の見直し（骨子案）について>

- ・ 商慣習見直し宣言事業者の宣言項目にフードドライブを追加するなど、登録しやすい枠組みづくりを検討すると良い。
- ・ 継続的に情報を発信するとともに、SNS などを活用しながら絶えず新鮮な気持ちで聞いてもらえるような啓発活動を推進計画に盛り込んでいくと良い。

<事業者の食品ロス削減の取組みについて>

- ・ 在庫量の適正化など、さらに見直していきたい。
- ・ 安心安全なものを作る中ではロスが発生することもあるため、食品製造業における食品ロスの目標設定が難しいと感じる。
- ・ 賞味期限の延長や大きくくり化を進めているが、大きくくり化すると、消費者が曖昧な表記と感じる恐れもあり、不安が残っている。
- ・ 1/3 ルールから 1/2 ルールへの見直しについては、全国チェーンのお店等でまだ足並みが揃っていない。
- ・ 各学校と協力して、フードドライブ活動を実施している。